

大島商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	情報工学特論Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		0187		科目区分		専門 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		情報工学科		対象学年		5	
開設期		集中		週時間数			
教科書/教材							
担当教員		開講しない					
到達目標							
(1)オートマトンと言語理論の基本的な概念を理解する。 (2)有限オートマトンを利用した処理をC言語でプログラミングできる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		有限オートマトンについて詳細に説明できる。		有限オートマトンについて説明できる。		有限オートマトンについて説明できない。	
評価項目2		有限オートマトンを利用した処理をC言語でプログラミングできる。		有限オートマトンを利用した処理を説明できる。		有限オートマトンを利用した処理をC言語でプログラミングできない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE J(05) 本校 (1)-a 情報 (4)-a							
教育方法等							
概要		コンピュータ言語の文法の規定やコンパイラの構成などに用いられるオートマトンと言語理論について講義し、これに関係するプログラミング実習を行う。					
授業の進め方・方法							
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	言語理論に関する基礎		状態遷移図による事象のモデリングについて理解する。		
		2週	言語理論に関する基礎		状態遷移図による事象のモデリングについて理解する。		
		3週	言語理論に関する基礎		状態遷移図による事象のモデリングについて理解する。		
		4週	有限オートマトン		有限オートマトンについて理解する。		
		5週	有限オートマトン		有限オートマトンについて理解する。		
		6週	有限オートマトン		有限オートマトンについて理解する。		
		7週	正規表現		有限オートマトンから正規表現への返還を理解する。		
		8週	正規表現		有限オートマトンから正規表現への返還を理解する。		
	2ndQ	9週	正規表現		有限オートマトンから正規表現への返還を理解する。		
		10週	正規表現		有限オートマトンから正規表現への返還を理解する。		
		11週	形式文法		正規文法、文脈自由文法について理解する。		
		12週	形式文法		正規文法、文脈自由文法について理解する。		
		13週	形式文法		正規文法、文脈自由文法について理解する。		
		14週	形式文法		正規文法、文脈自由文法について理解する。		
		15週	形式文法		正規文法、文脈自由文法について理解する。		
		16週	期末テスト				
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					

		16週					
評価割合							
	試験	演習	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0